

# 「広島神楽」定期公演へようこそ!

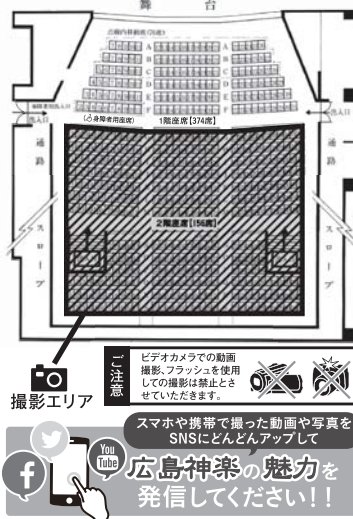
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。  
ご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

## 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



## 6月6日のタイムスケジュール

出演：伊賀和志神楽団（三次市）

19:00～開演

19:05～第一幕『鍾馗』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『山伏』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)  
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いかわしかぐらだん

## 伊賀和志神楽団プロフィール ～三次市～

伊賀和志神楽団は広島県の北部を流れる江の川沿いの三次市作木町にあります。

神楽団としての活動は、江戸時代の終わり頃からと推定されますが、地元の伊賀和志天満宮の秋の大祭をはじめ、各地の氏神祭や祈願祭などで神前において盛大に神楽が奉納され、代々、土地の有志によって伝承されてきました。

昭和35年には広島県無形民俗文化財の指定を受け、地元・作木中学校の郷土芸能伝承活動として「神楽」の指導をするなど、保存伝承につとめています。

神楽大会や各地の秋祭りでの神楽奉納やイベントなどにも数多く出演させて頂いております。

本日はご声援宜しくお願いいたします。

## 第一幕『鍾馗』(しょうき)

「鍾馗」は中国や日本に伝わる魔除けの神様です。

備後風土記には、みすぼらしい姿の武塔神(むとうしん)が一夜の宿を頼み、貧しいながらも温かくもてなした家族に「茅の輪(ちのわ)」を腰に巻くよう言い残し、村中に疫病が流行った際にその家族は助かったという伝説があります。

神楽の演目「鍾馗」はこの伝説などから創作された物語で、須佐之男命(すさのおのみこと)の化身が鍾馗大神と名乗り、民の命を奪おうとする大疫神(だいえきしん=疫病の神)と戦います。

姿なき大疫神を左手に持つ茅の輪で捕らえ、右手の剣で見事退治します。

【出演】

大太鼓	… 岩崎 政彦	鍾馗大神	… 佐伯 洋哉
小太鼓	… 岩岡 純二	(須佐之男命)	
手打鉦	… 原田 美香	大疫神	… 下岡 浩之
笛	… 三上 柚希	(鬼)	

## 第二幕『山伏』(やまぶし)

那智の山伏、亜邪利祐恵(あじゃりゆうけい)は剛力(ごうりき)を伴に修行の途中、下野(しもつけ)の国、安達ヶ原(あだちがはら)の黒塚(くろづか)にさしかかります。日はとっぶり暮れてしまい、折りよく見つけた一軒の家に宿を求めますが断られ、野宿をすることになります。

就寝の中で祐恵らは、もののけに取り憑かれたようになってしまい、里人に話したところ悪狐の妖怪ということがわかります。

妖女に化けた悪狐を見つけた祐恵らは格闘となりますが、剛力は食われ、自らは辛うじて逃げます。

やがて勅命を受けた三浦介、上総介によって悪狐は退治されるという物語です。

【出演】

大太鼓	… 岩崎 政彦	祐	恵	… 河野 英幸	悪	狐	… 岩岡 勝己	
小太鼓	… 中村 哲明	剛	力	… 藤岡 勝美	三	浦	介	… 岩岡 純二
手打鉦	… 原田 美香	妖	女	… 三上 広隆	上	総	介	… 岩岡 慎治
笛	… 岩岡 奏絵	里	人	… 下岡 浩之				

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。